

都市・住宅整備関係

国営公園整備事業(海の中道海浜公園)【直轄】(福岡県福岡市)

■概要

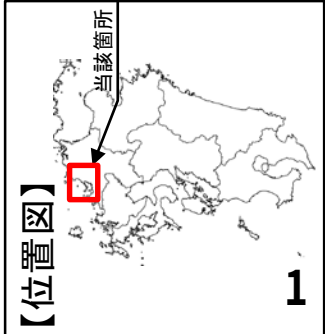
海の中道海浜公園は、北部九州の広域的レクリエーション需要等に対応するために整備を進めている国営公園

■予算概要

事業費：825百万円

- ・未供用区域の玄界灘側海浜部（D地区）において、白砂青松の景観保全のための松林育成等の整備を行う。
- ・多くの来園者を迎える海の中道駅周辺の動線を分かりやすく整理する再整備に着手するほか、駐車場の混雑緩和やC地区護岸の親水性向上に資する再整備等を行い、利便性向上や多様なレクリエーション需要への対応の充実を図る。

【位置図】



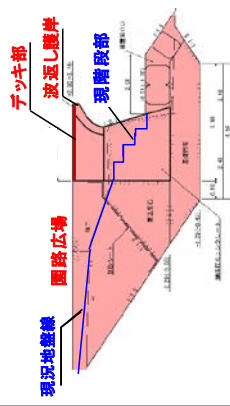
当該箇所



老朽化したC地区護岸

【公園概要】

- ・計画面積：539ha
- ・供用面積：350ha



デッキ部

波返し護岸

現階段部

C地区護岸再整備イメージ

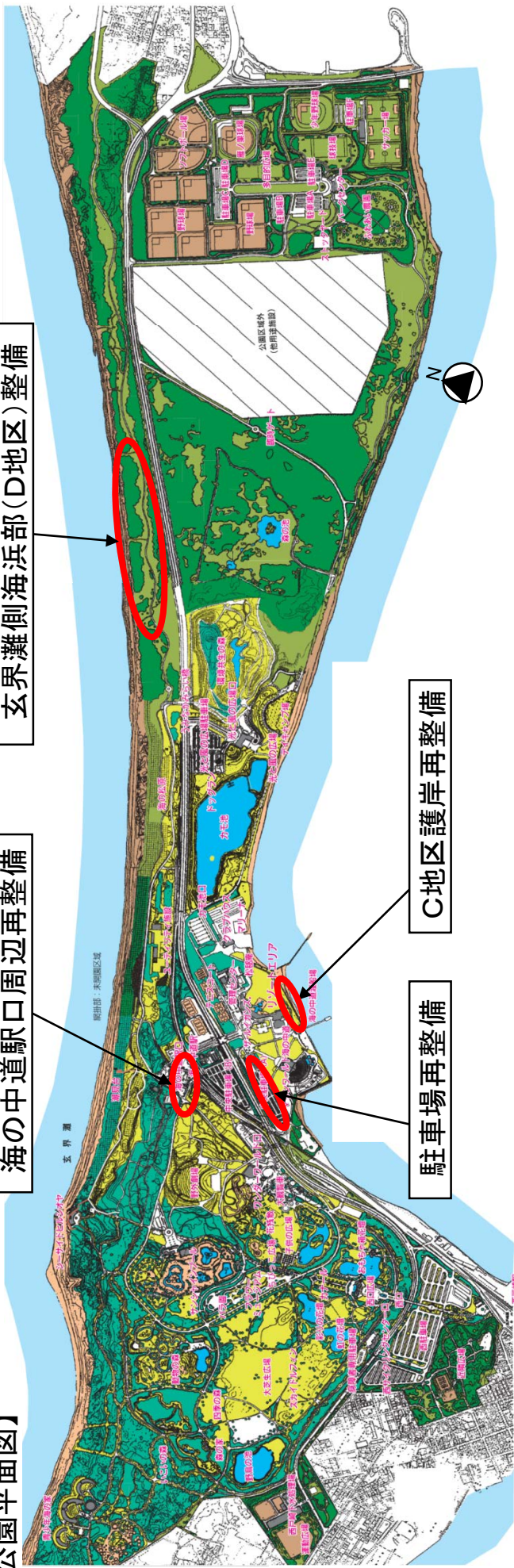
【公園平面図】

海の中道駅周辺再整備

玄界灘側海浜部(D地区)整備

駐車場再整備

C地区護岸再整備



概要

折尾駅周辺を縦横に走る鉄道により、市街地の分断や踏切による交通渋滞が慢性化しているため、鉄道を連続立体交差化し、9箇所 の踏切を除却することにより、交通渋滞の解消、住環境の改善、まちの一体化と回遊性の確保等を図るとともに、交通結節機能の強化を図る。

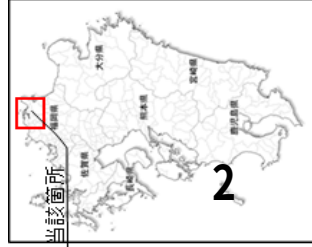
■事業主體：北九州市

■事業期間：平成16年度～令和4年度

■整備内容：延長=4.5km、除却踏切数9箇所

事業内容：R3年度は、鉄道全線の高架切替完了を目指し、事業を推進。

《圖》位



《整備状況・整備内容》

○駅ホームや軌道、新駅舎の建築工事を実施中



鹿児島本線ホム



新駅舎建築工事

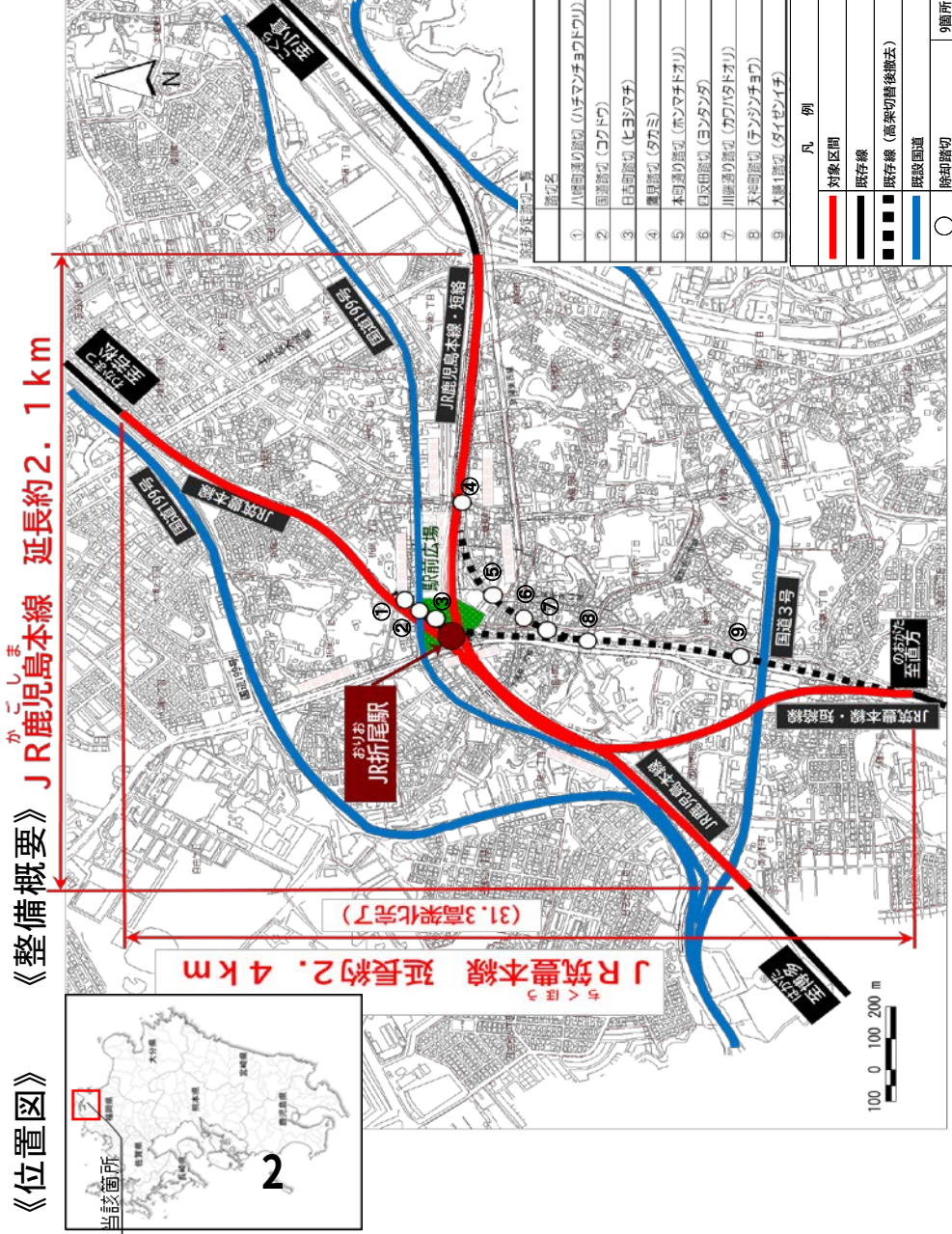
《果効業事》

○踏切交通遮断量が100%削減され、交通渋滞が解消
(181.393人台・時間／日 ⇒ 0人台・時間／日)



国道踏切(国道199号)

完成イメージ



■概要

本地区は北九州市小倉都心部の重要な商業拠点であるが、隣接する2級河川神獄川による度重なる浸水被害や、木造建築物の密集や老朽化など、防災面で多くの課題を抱えているため、既存の市場機能を確保しながら神獄川河川整備とあわせて立体換地手法を活用した土地区画整理事業を実施することで、地区の防災安全性を向上し、小倉都心部の活性化を図る。

■整備内容 土地区画整理 約0.6ha ■事業期間 令和2年度～令和9年度 ■事業主体 北九州市

■事業内容 R3年度は調査及び設計を実施

社会資本整備総合交付金の内数

《位置図》



3

《現況写真》



賑わいのある巨過市場

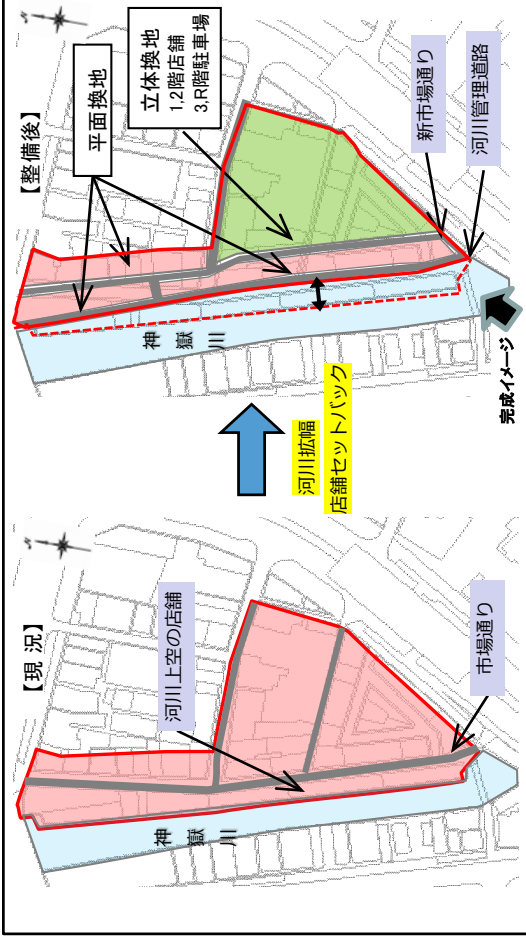


神獄川による度重なる浸水被害

《航空写真》



《整備内容》



《事業効果》

- ・ 河川整備による浸水被害の解消
- ・ 建物整備による老朽化・密集化の解消



市場建物の老朽化・密集化

大規模雨水処理施設整備事業(福岡市天神周辺地区)【補助】(福岡県福岡市)

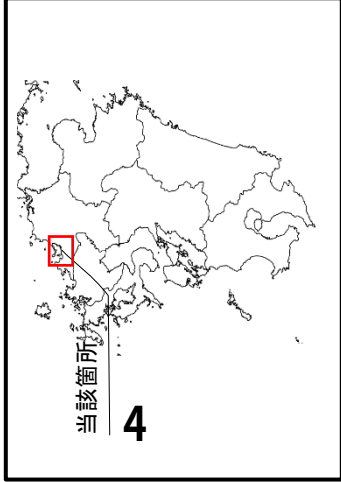
継続

建政一4

■概要

- 福岡市の都心部である天神周辺地区は、平成11年6月の豪雨(79.5mm/h)等で甚大な浸水被害が発生。
- このため、福岡市天神周辺地区大規模雨水処理施設整備事業により、雨水管渠等の整備を行い、平成11年6月の豪雨と同規模の降雨に対して、浸水被害を軽減を図る。
- 整備内容:雨水管渠等(φ450～φ2,600) 約14.7km 雨水浸透施設 約80ha
- 事業期間:令和2年度～令和8年度
- 事業主体:福岡市
- 事業内容:雨水管渠等の整備(φ1,000～φ2,600) 約2.6km

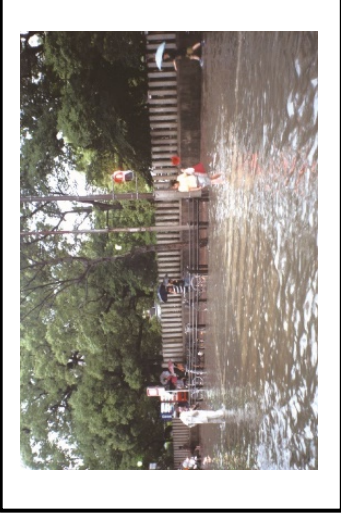
《位置図》



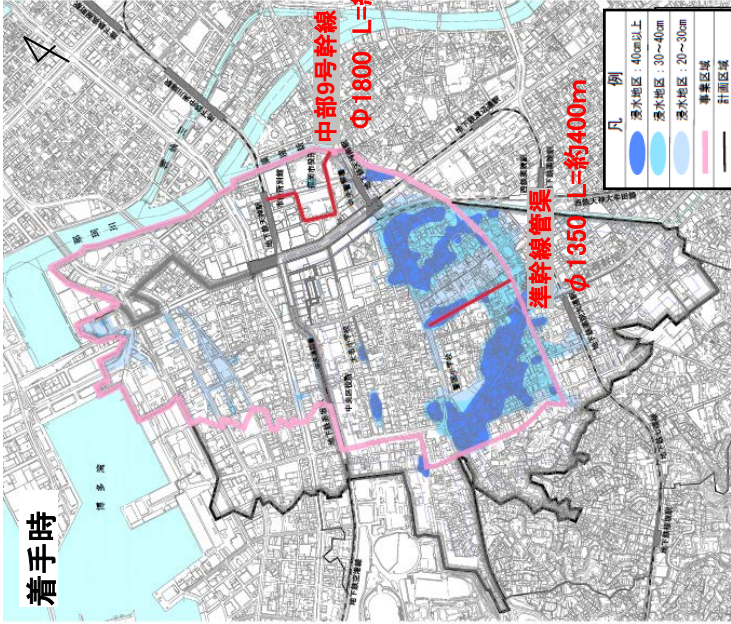
当該箇所

4

《平成11年6月豪雨 浸水状況》



《事業の効果》



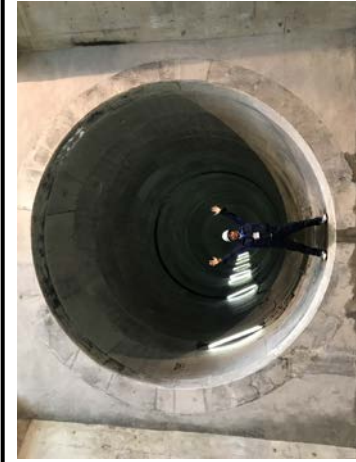
平成11年6月の豪雨と同規模の降雨に対して

床上浸水を概ね解消し浸水被害を軽減

《雨水管渠の整備》



(シールド工事施工状況)



(完成イメージ)

■概要

佐賀市では、下水道資源を地域へ還元するため、下水浄化センターに下水汚泥やし尿・浄化槽汚泥を集約化し、再生可能エネルギーとして利用する下水道リノベーションの取組を推進する。

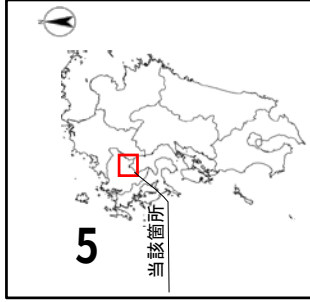
■整備内容: 下水浄化センター内のガスホルダ、消化タンク、機械濃縮設備、消化ガス発電設備の整備

■整備期間: 令和元年～令和4年度(令和5年4月供用開始予定) ■事業主体: 佐賀市

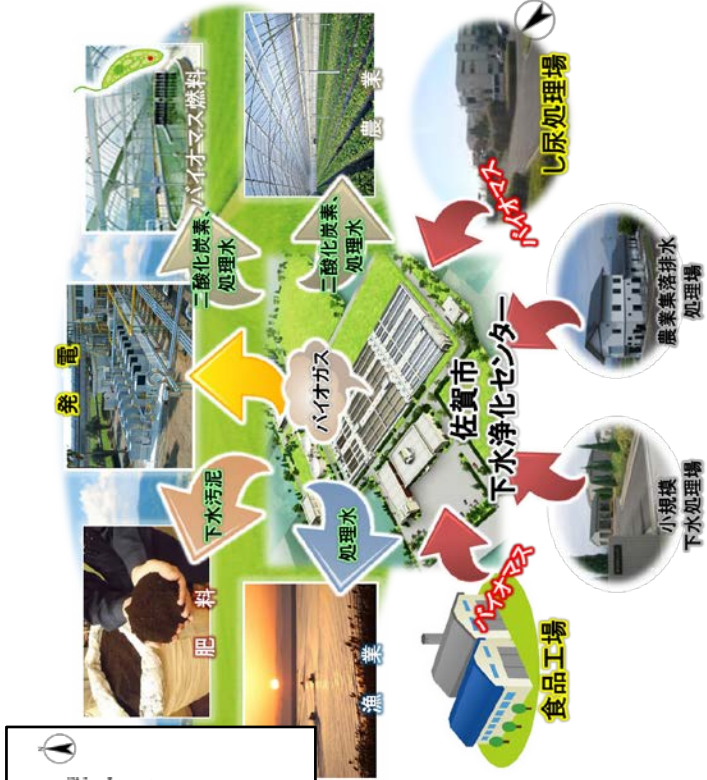
■事業内容: 令和3年度は汚泥処理設備等(消化タンク、機械濃縮設備、消化ガス発電設備)の整備

社会資本整備総合交付金の内数

《位置図》

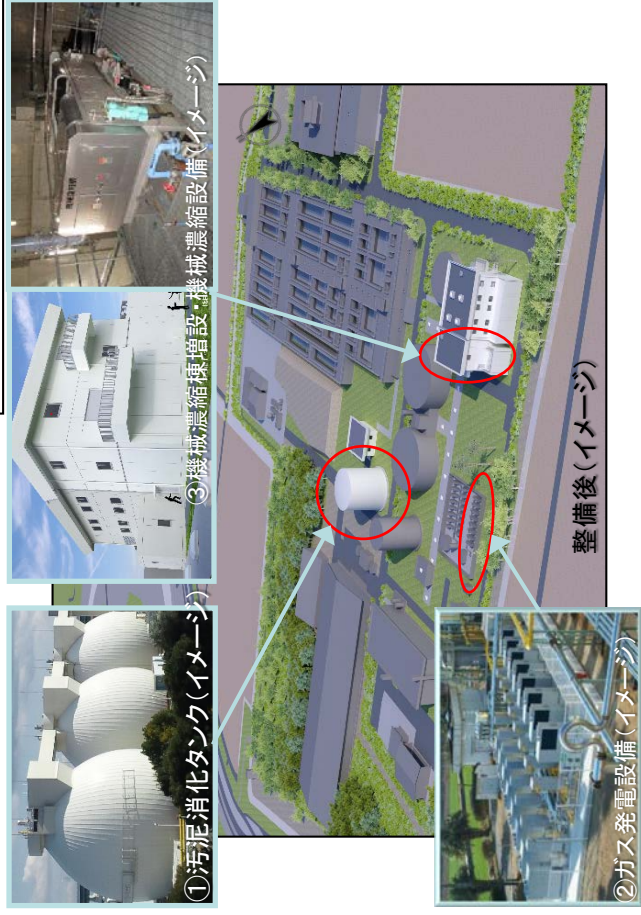


《下水道資源の活用イメージ》



《整備内容》 令和3年度から施工

消化タンク	1基 (3,000m³)
機械濃縮設備	1台 (40m³/h)
ガス発電設備	8台 (25KW)



《事業効果》

汚泥消化タンク等の整備により、バイオマス発電量を増加(現在: 400KW → 整備後: 600KW)

■概要

本地区は、令和4年秋の開業予定の九州新幹線を活かしたまちづくりを推進するとともに、新駅周辺の土地区画整理事業を中心とした都市構造の再編を行い、交流促進や利便性の向上、民間活力の活用を図るとともに、立地適正化計画における都市拠点として、コンパクトなまちづくりを推進している。

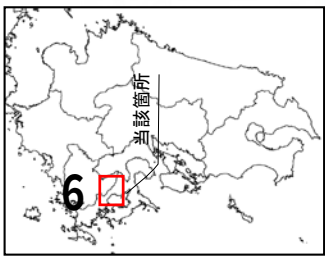
■整備内容 道路（市道植松3丁目小路町線）、地域生活基盤施設（まちなか交流公園、森のみち公園等）、高質空間形成施設（駅前広場高質化等）、下水道、ほか提案事業

■事業期間 令和3年度～令和7年度 ■事業主体 大村市

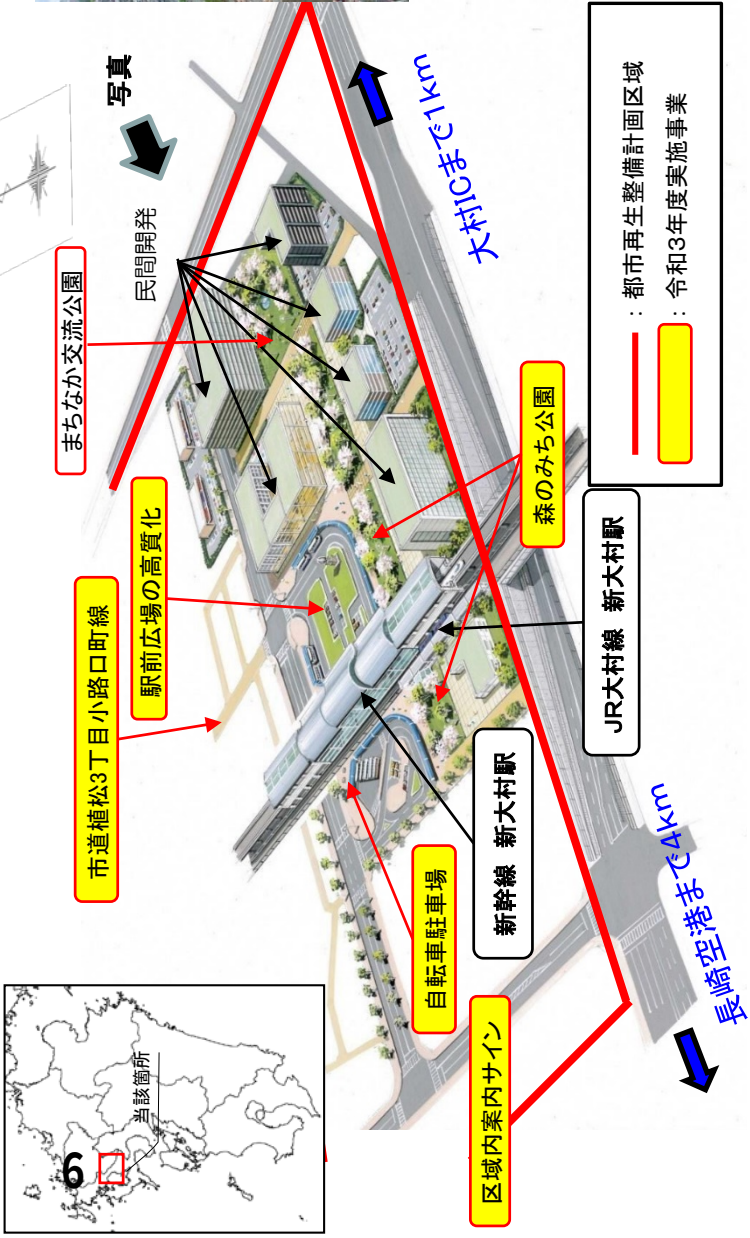
■事業内容（R3事業） 道路整備（約400m）駅前広場の高質化（約4,800m²）森のみち公園整備（約4,700m²）、案内サイン（約40箇所）、自転車駐車場（約180台）ほか

事業費：973百万円

《位置図》



《全体イメージ図》



— : 都市再生整備計画区域
■ : 令和3年度実施事業

■ 東方向から、新大村駅の方向を見たイメージ



交通結節点及び市の玄関口にふさわしいオープンスペースの確保

《事業効果》

- 交通結節拠点の整備
- 民間開発の誘導
- 公共交通利便性向上

建設投資の約1.6倍
の経済波及効果

ましきちゅうおう

土地区画整理事業（益城中央地区）【補助】

街路事業（（都）益城中央線ほか1線）【補助】

（熊本県熊本市、益城町）

継続

建政一七

■概要

本地区は、平成28年熊本地震で最も建物被害が集中し、倒壊家屋により避難経路が確保できないなどの問題が生じたことから、被災した建物の早期再建とともに町の都市拠点として快適で災害に強いまちづくりを図る。

○益城中央被災市街地復興土地区画整理事業 ■整備内容：R3年度は、建物等の移転補償及び宅地造成工事等を推進。

■事業期間：平成30年度～令和9年度 ■事業主体：熊本県 ■事業内容：土地区画整理 約28.3ha

○（都）益城中央線ほか1線 ■整備内容：R3年度は、用地補償および道路改良工等を推進。

■事業期間：平成28年度～令和7年度 ■事業主体：熊本県 ■事業内容：道路拡幅 延長 L=3,167m、幅員 W=27.0m

社会資本整備総合交付金の内数

《位置図》



7



狭隘道路沿いの建物倒壊

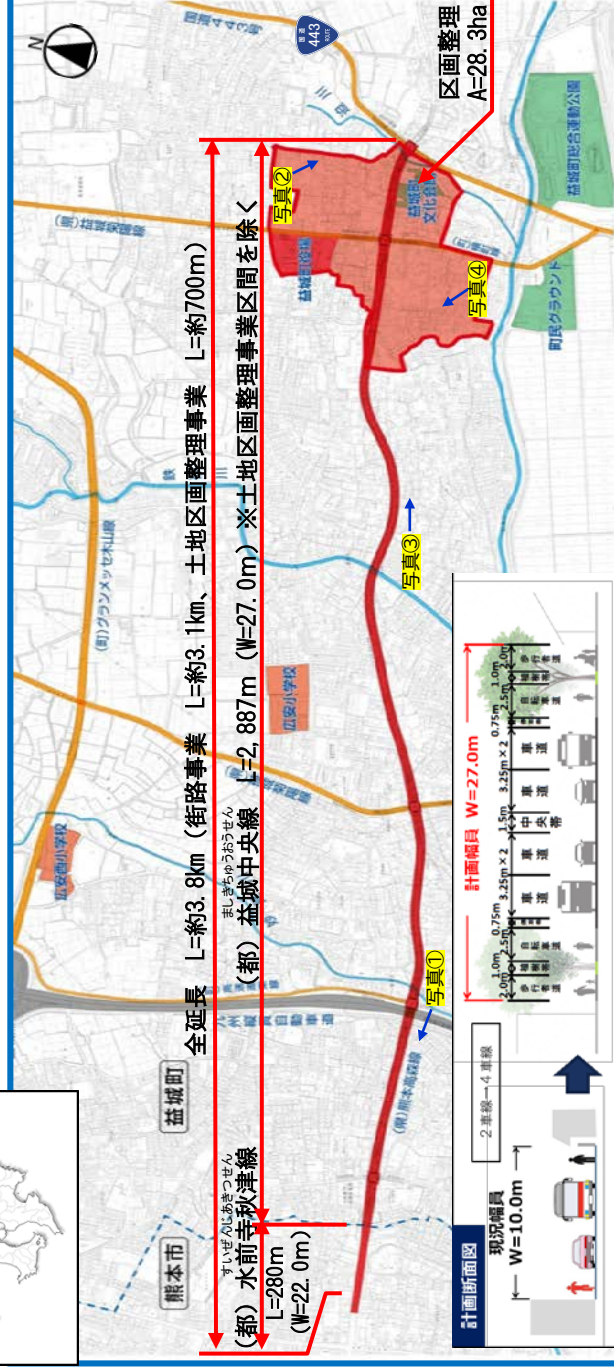


建物及び宅地擁壁の倒壊



益城中央線の渋滞状況

《整備概要》



《整備状況》

○道路改良工事や宅地造成工事を実施中



写真①



写真②

益城中央線4車線化工事

土地区画整理事業宅地造成工事

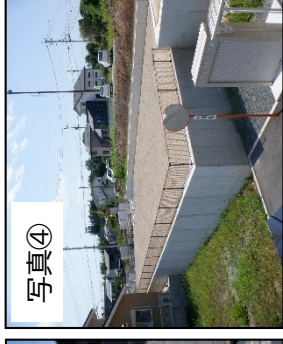
《事業効果》

安心安全な
歩道空間の確保



写真③

宅地の造成工事を完了



写真④

益城町安永

益城町宮園

街路事業（（都）庄の原佐野線（下郡工区））【補助】（大分県大分市）

継続

建政—8

概要

本路線の整備により、周辺道路の交通容量不足による慢性的な交通渋滞の緩和や、大分市中心市街地の津波浸水想定区域内と市の東部に位置する広域防災拠点間の緊急輸送路の確保等に寄与する。

■整備内容：R3年度は、調査設計および用地買収を推進。

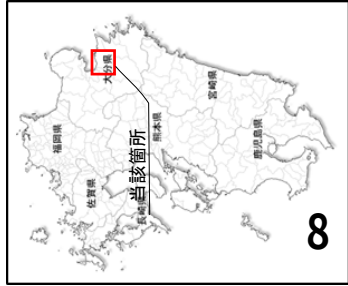
■事業期間：平成29年度～令和8年度

■事業主体：大分県

■事業内容：延長 L=900m、幅員 W=55.0m

事業費：1,920百万円

《位置図》



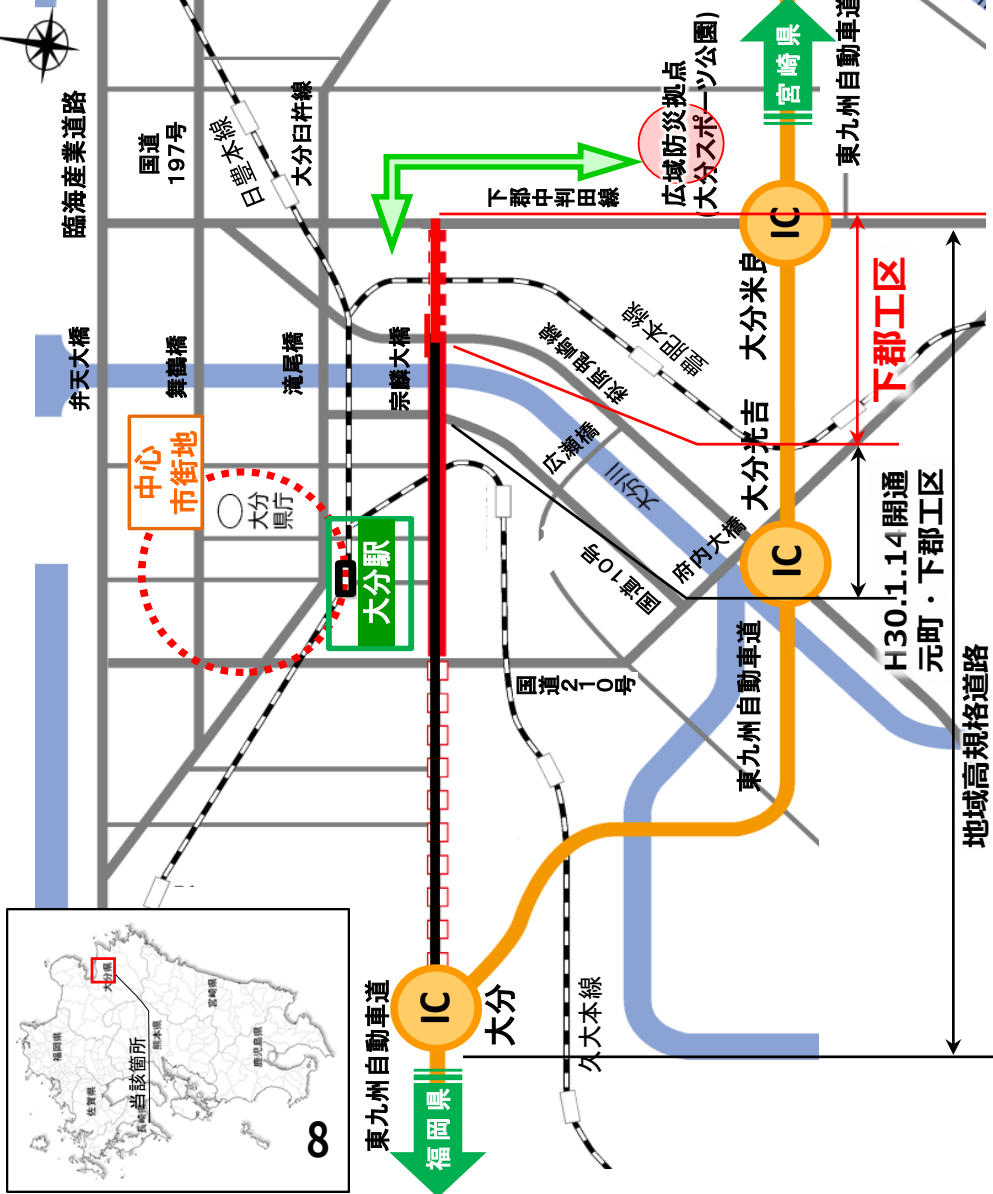
《整備状況》

○用地買収を実施中
(用地買収状況)



(完成イメージ図)

《整備概要》

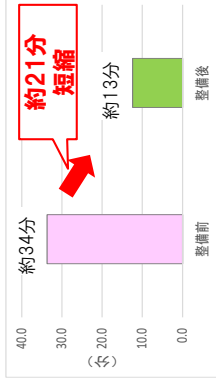


《事業効果》

(渋滞状況)



■所要時間の削減
(米良IC→大分市中心部)



※旅行速度：H27.9.H28年度調査結果(将来道路(庄の原佐野線)は設計速度)

■災害時の緊急輸送路の確保

津波発生時に通行不能となる可能性のある広域防災拠点と大分市中心市街地との緊急輸送物資の搬送が可能。

優良建築物等整備事業(延岡駅前地区)【補助】(宮崎県延岡市)

完成

建政一〇九

■概要

当該地区は、市の玄関口であるJR延岡駅に面し、中心市街地の重要な拠点であるが、敷地が細分化され老朽化が進んだ複数の建物が建設されているなど、土地利用が著しく不健全となっている。

敷地の共同化、既存建物の解体を行い、事務所等がテナントとして入居する「仕事の拠点」として複合的な機能を有した建築物を整備することで、土地利用の高度化及び市街地としての環境整備改善を図る。

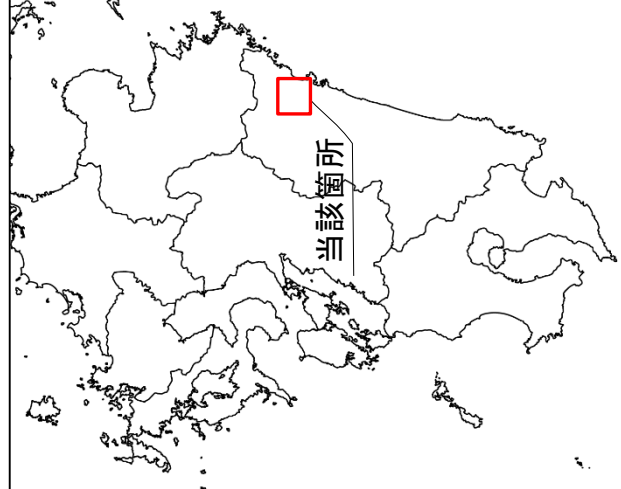
■整備内容 (事業前) 鉄筋コンクリート造 3～5階建 6棟、鉄骨造 3階建 1棟
(事業後) 鉄骨造 5階建 1棟

■事業期間 平成30年度～令和3年度

■事業主体 延岡市

■事業内容 (R3事業) 建築主体工事(地上部)、電気設備工事、機械設備工事、外構工事 一式

社会資本整備総合交付金の内数



当該箇所



既存テナント(細分化された敷地)



建替後(イメージパース)

■概要

鹿児島県原良団地の建替事業並びに鹿児島市宮武岡住宅について、老朽化した高経年の公営住宅の更
新や改善を行うことで、居住性・防災性・安全性の向上を図る。

■整備内容 県 (建替前) RC造1,090戸 (建替後) RC造400戸, 木造300戸
市 (建替前) RC造1,012戸 (建替後) RC造900戸 (改善) RC造2,182戸

■事業期間 平成27年度～令和17年度予定

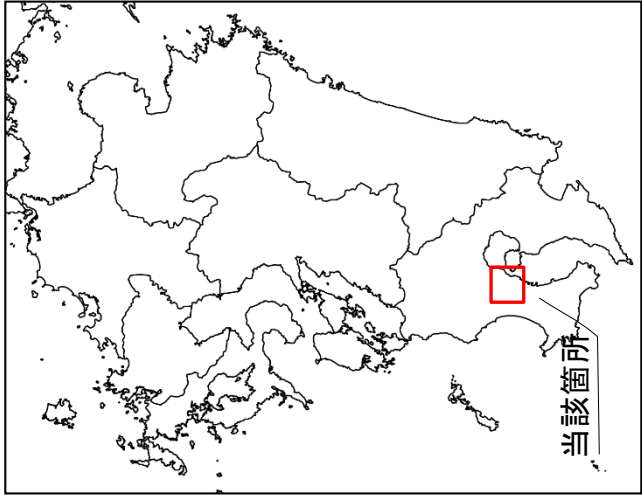
■事業主体 鹿児島県, 鹿児島市

■事業内容 (R3事業)

鹿児島県:建替(本体工事)RC造50戸, 木造26戸

鹿児島市:改善工事(外壁, 屋上防水改修)710戸

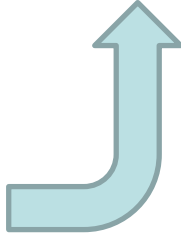
事業費:809百万円



当該箇所



老朽化した県営住宅(原良団地)



R元年度完成住棟(原良団地)